

令和2年度 授産所ふくふく 事業報告（案）

1、重点施策（結果報告）

（1）利用者支援の目標

①作業棟：作業プログラムの見直しをはかる。

→ オリジナル・クッキー班関連では、土曜・日曜にあったバザー等のイベントが新型コロナウイルス感染症対策の兼ね合いでほぼ中止となった（数にして40以上）。

利用者工賃確保の動きとして、オリジナル作業ではマスクの製作を実施し、常設店への供給を始めた。保育園の卒園記念バッグなどの注文対応を実施した。

クッキー班等は授産所ふくふく家族会に向けた注文販売の実施（カレンダーを含めて3回）と、金山総合駅での愛知県セルプセンターの販売会の参加（7月以降毎月）、クッキー常設店の増加と巡回サイクルの見直しで売上の確保を図った。

下請け班関連では、コロナ禍の影響は内職の発注量の削減や内職自体の停止に発展した。利用者の作業がなくならないように袋詰め作業を新たに追加し内職作業の一定数の確保を進めた。また、令和元年秋から従事する職員数・利用者数の減少から作業を休止していた縫製のクリーナークロス作業を再開した。

農業は農加工をコンスタントに実施し、班の垣根を越えて多くの利用者が関わる事ができた。また王寿園の託児所の園児や谷川小学校2年生を招いて「収穫体験交流会」の開催ができた。

年度末に就労継続支援B型の工賃変動型積立の40万円を原資に利用者の歳末特別手当の支払いに充てた。

②療育棟：療育の入浴等プログラムの見直しをはかる。

令和2年度は職員異動を実施したので、療育棟だけで見ると常勤職員2名減でのスタートであった。それ以降でも上半期までで常勤職員2名と看護師パート1名の退職が重なってしまった。そのため当初は入浴希望者に対応をしていくために、午後入浴の可能性を含め一日のプログラムの再構築に動こうとしていたが、これまで実施していたレクリエーションやくじら山での喫茶利用などの余暇活動さえも予定通りに進まない状況が続いた。

下半期になるにつれ、常勤・非常勤の生活支援員の補充ができ余暇活動を再開した。

この中で入浴を午後に行ったこともあったが、結論としては、食後の入浴で利用者の身体負担も大きいこと、午後プログラムの方が午前プログラムより時間が短いこと、午後に早く上がる職員が多いことから、現時点では午後入浴の開始は困難と考えた。

（2）職場の目標

「和やかな雰囲気、互いに協力できる体制を目指す」

概ね「利用者のために」という考えのもと協力して動くことができた。特に令和2年度はコロナ禍の学校休業の兼ね合いや、家族の介助・看護、職員自身の入院等で「現場に職員がいない状況」が起り、別の棟の職員がフォローに回ったり、追加勤務に応じてくれた職員が多数あり、「現行職員で実施していく」という思いが強くみられた。

2、令和2年度 事業報告

(1) 月別・地区別 利用契約状況

生活介護 ※月初在籍人数

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
豊橋市	67	66	66	65	66	66	66	66	66	66	66	66
市 外	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
計	73	72	72	71	72	72	72	72	72	72	72	72

契約解除 山本健一郎 (5月)、藤沢瑞姫 (6月)、野島昇吾 (7月)、浜名秀佑 (3月)
新規契約 加藤優斗 (4月)、須田一寛 (8月)

(2) 生活介護 利用者年齢状況 (令和3年3月末日現在)

年 齢	～19	20～	30～	40～	50～	60～	平均
男 性	1	16	13	8	0	7	35.9
女 性	0	7	17	2	1	0	32.6
計	1	23	30	10	1	7	34.9

(3) 生活介護 障害支援区分状況 (令和3年3月末日現在)

※生活介護は区分3以上が利用可能。ただし50歳以上は区分2以上。

区分	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	5	9	5	26	45
女性	0	1	2	4	20	27
計	0	6	11	9	46	72

(4) 利用状況に関して (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

生活介護 定員55名 (年度末登録72名) ※数字は延利用者数 () は開所日数

述べ 10,484人(250日)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
872	792	922	899	845	887	956	848	871	822	797	973
(22)	(18)	(22)	(22)	(21)	(21)	(22)	(20)	(20)	(20)	(19)	(23)

日中一時支援 定員3名 ※数字は延べ利用者数 述べ 0人(0日)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※本体事業所の稼働日に営業しているが、在校生の実習体験や見学のみで活用されず。
放課後等デイサービスの利用ができるからか。

(5) 各事業の稼働率 一日に何人利用したかの計算

生活介護	2019年度		令和2年度		前年度比	
	78.0%	42.9人	76.2%	41.9人	△1.8%	△1.0人

(6) 利用者の増減

- ・生活介護 新規契約 2名（在宅2名）
契約終了 4名（他事業所へ2名移行、入所1名、死亡1名）
※新卒生は令和3年度利用開始なので契約者に加えなかった。

3、職員研修（主なもの）

NO	開催月	主催	名称・内容	参加者
1	7月	東三セルプ	施設長会（年3回 リモート）	北尾
2	12月	県社協	サービス管理責任者会議	伏見
3	1月	ほっとぴあ	権利擁護研修	職員10名
4	3月	県社協	サービス管理責任者更新研修	北尾

4、活動に関して

(1) 生活介護

- ・生産活動 平均工賃月額 7,055円（前年工賃月額 7,840円） ※昨年対比 90.0%
作業棟でのリハビリで、給付費につながるケースが多くなった。
- ・療 育 リハビリの拡充。8割以上の利用者がリハビリを実施する。
重度化のためケア度が上がるケースが多くみられた。とりわけ、2019年度は入院が多く、そのたびに医療的ケアの内容の変更等が見られた。

(3) 作業班売上販売額比較（単位：千円）

作業班	2019年度	令和2年度	増減	対前年比
縫製	1,605	1,185	△420	73.8%
クッキー	4,899	4,219	△680	86.1%
リサイクル・くぎ・ゴム	2,257	2,092	△165	92.3%
オリジナル・喫茶	2,703	1,477	△1,226	54.6%
合計	11,464	8,973	△2,491	78.3%

農作業の収入はオリジナル・喫茶での売上に反映している。
木工・新規内職の作業はリサイクル売上に反映している。

5、その他

(1) 保健・衛生

- ①前年度に引き続きインフルエンザ予防接種の補助を実施した。
利用者の80.5%、職員の60.7%が受診。インフルエンザ罹患者は0名。
- ②様々な新型コロナウイルス感染症対策を実施した。
主なものとして、手指消毒、使い捨てマスク、飛沫防止衝立等の設置、換気、消毒習慣の徹底、非接触型検温器の設置、入場者記録、送迎の密を避けるために車輛の整備、利用者との接点を取りかつリモートで会議等に参加できるようPCの導入等を実施した。

(2) 給食

- ・家族会の寄付や企業助成金を活用し、給食保温庫の購入をした。
給食業者との話し合い、2月に温かい給食の提供体制の試験を実施した。

(3) 防災訓練

- ・防災教育・訓練、消火、通報等の訓練を実施した。各棟の消防組織を周知した。
- ・災害時対応マニュアルの整備。発電機・投光器等の使用訓練を毎月実施した。
50人分(1週間分)の食料飲料は使用と購入を同時に進めた。(後援会の寄付による)
防災教育の一環としてアルファ米を用いて炊き出し訓練を実施した。

(4) 実習の場の提供

- 市内小学校生徒福祉・施設訪問 2件(谷川小学校)
- 特別支援学校生徒就業体験 2件(豊橋特支5名、浜名特支2名)
- 社会福祉士等実習 1件(同朋大学)

(5) 固定資産購入、修理・改修等

- 食堂の雨漏り、トイレの排水つまり、エアコンの修理、駐車場の砕石等。

(6) 苦情・相談報告 : 苦情3件

1	6月	申出者：利用者(女性)	苦情種別：送迎車の運転に関して 急発進、急停車がある。全体的にスピードが速く、乗っていて怖い。 対応：施設長が送迎車輛に同乗し指導。ドライブレコーダーの確認も実施。 翌週に苦情申し出者に運転の確認をすると「可」になったということ。
	12月	申出者：付近住民	苦情種別：送迎車の運転に関して 連日煽られたので運転手をしかりつけた。改善が無いようであればレコーダーの記録をもって警察に行く。 対応：運転業務にあたる職員全員にリフトカーと計車輛の車間距離についての簡易研修を即日実施した。
	1月	申出者：一般市民	苦情種別：送迎車の運転に関して 一旦停車せずに出てきた。注意してほしい。 祝日特別編成の初めてのルートであったが、職員は止まったと認識していた。相手の安全も考え、誰もが分かるよう一旦停止する努力をと指導した。

書面として残るのは送迎関連の内部・外部からの苦情であった。

(7) その他

新型コロナウイルス感染症関連の公的な補助金・助成金の取得について

- 国・愛知県) 慰労金(該当者5万円)、小中学校休業等対応助成金(約13万円)、
障害福祉サービス確保対策事業費補助金(車両等の購入 約75万円)
- 豊橋市) 緊急事態宣言下の時短営業協力金(喫茶店時短営業 25万円)
衛生管理体制確保支援事業補助金(衛生に関する消耗品費の補助)

令和2年度 ケアホームふたば 事業報告

1、利用に関して

(1) 月別利用状況

共同生活援助 (定員5) 4月より1室空床。 1月より満床。 利用延べ人数 単位：人

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用延人数	106	101	107	112	108	107	110	105	98	114	128	136	1,332

短期入所 (定員2) 利用延べ人数 単位：人

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
豊橋市	34	27	29	36	33	31	36	30	31	36	36	43	402
市外	2	2	2	2	1	2	0	2	2	2	2	2	21
計	36	29	31	38	34	33	36	32	33	38	38	45	423

(2) 各事業の稼働率 ※一日に何人利用したかという計算です。

年度	2019年度		令和2年度		前年度比	
共同生活援助	81.4%	4.07人	73.0%	3.64人	△8.40%	△0.43人
短期入所	42.5%	0.85人	58.0%	1.16人	+15.5%	+0.31人

共同生活援助の空床補充ができる間に短期入所の受入れ増加の取り組みをした。

2、健康管理保健・衛生、医療的ケア

(1) 新型コロナウイルス感染症対策として、手指消毒、使い捨てマスク、飛沫防止衝立、等の設置、換気、消毒習慣の徹底、非接触型検温器の設置、入場者記録、利用者との接点を取りかつリモートで会議等に参加できるようにPCの導入等を実施した。

3、職員研修

NO	開催月	主催	名称・内容	参加者
1	適宜	ふくふく	SS利用希望者アセスメント	小野、高原、西尾
2	1月	東三セルプ	共同研修会(虐待防止)	橋本、看護師

その他、毎月のケース会議を実施した。

4、苦情・相談報告

行動障害を有する利用者(利用者及び入居者)への不満を口にするもの、音や声、態度にパニックになる入居者が見えた。

5、その他

新型コロナウイルス感染症関連の公的な補助金・助成金の取得について

国・愛知県) 慰労金(該当者5万円)

障害福祉サービス確保対策事業費補助金(空間清浄機等の購入)

豊橋市) 衛生管理体制確保支援事業補助金(衛生に関する消耗品費の補助)